



金の勝重御膳

五輪応援「金の勝重御膳」

栃木市都賀町合戦場の 績が「上がる」ことを祈
和食店「旬鮮めん処不二
屋」は28日まで、9日に
韓国で開幕する平昌五
輪に出場する日本代表選
手応援メニュー「金の勝
重御膳」を販売している。
180円。税込み20

栃木の和食店 メダル獲得期待込め

メインのカツ重には
「柔らかくうまみがある」
(同店)という豚肉「ゴ
ールデンポーク」を使用
し、金メダル獲得を願い、
金粉をトッピングした。
太く長いため縁起が良い
とされるうどんには、成
ている。

同店の臼井文男店長
(51)は「メダル獲得が
期待できる選手が多いの
で五輪が楽しみ。応援メ
ニューを食べて、お客さま
まに盛り上がりしてもらえ
たらうれしい」と話して
(太田啓介)

金の勝重御膳が

2018/2/3 下野新聞 朝刊の

経済面に取り上げられた記事

五輪「金」応援メニュー

栃木の飲食店

カツの上に金粉、願い込め

平昌^{ピョンチャン}五輪の日本人選手を応援したいと、栃木市内の飲食店主が新メニュー「金の勝重御膳」を考案し、21日から販売している。使っている豚肉は「ゴールドンポーク」、カツの上には金粉が散らしてあるなど「金」メダルの期待をかけている。

考案したのは同市都賀町合戦場の「旬鮮めん処 不二屋」店主臼井文男さん(51)。

近所の合戦場郵便局の漆原康史局長が金色のポストを置き、「金運・開運の町」として地域おこし活動を続けているのに触発され、3年前に「金の勝定食」「金の勝重」を考案し、メニューに加えている。

今回は、スキーなどウィンタースポーツ全般が好きなお臼井さんが、日本人選手にたくさん金メダルを取ってほしいとの願いを込め、期間限定メニューとして考えた。

メインの金色の器に入ったカツ重のほか、うどんには、成績が跳びはねて金メダルに近づくようにえび天と、成績が上がるように油揚げなどが入る。デザートも日の丸をイメージし、ヨーグルトの真ん中に地元のイチゴを置いた。

臼井さんは「本当はテレビにかじりついて応援したいのですが、放送中は仕事のため、金のメニューを作りながら厨房で応援したい」と話している。値段は今年の西暦に合わせて2018円。2月28日まで。



「金の勝重御膳」を持つ臼井さん(栃木市都賀町合戦場の「旬鮮めん処 不二屋」で)

金の勝重御膳が

2018/1/22 読売新聞 朝刊の

栃木版に取り上げられた記事